

## 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・技術課

担当課長名：東川 直正

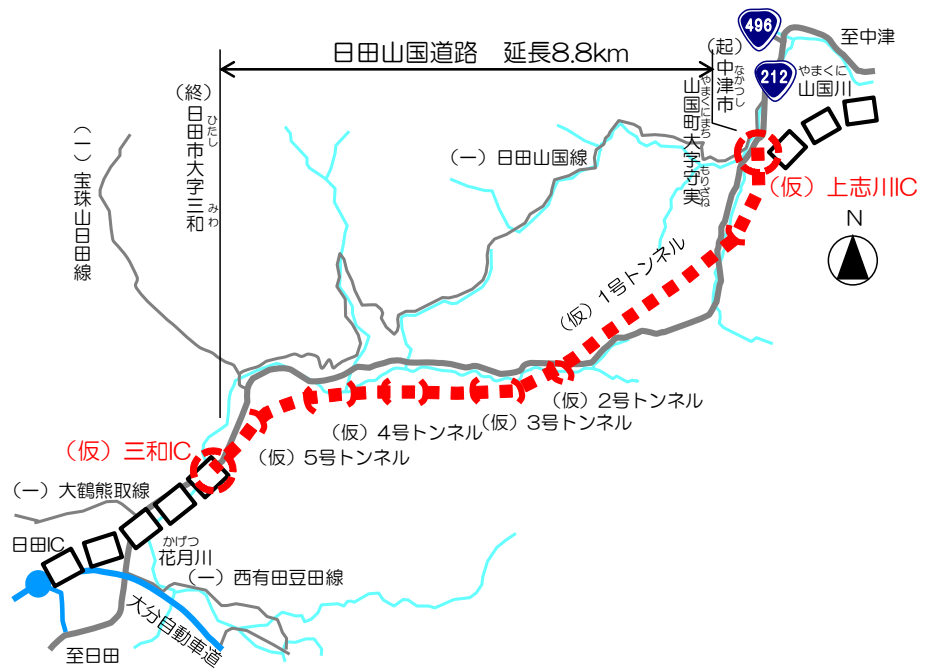
|   |   |  |  |  |      |  |
|---|---|--|--|--|------|--|
| 事業名   | 地域高規格道路 <small>なかつひた</small> 中津日田道路<br>一般国道212号 <small>ひたやまくに</small> 日田山国道路      | 事業区分   | 一般国道   | 事業主体                                   | 大分県  |  |
| 起終点   | 自：大分県中津市山国町大字守実 <small>なかつしやまくにまち もりざね</small> 至：大分県日田市大字三和 <small>ひたし みわ</small> | 延長   | 8.8 km   |  |      |  |
| <b>事業概要</b><br>当道路は、大分自動車道と東九州自動車道及び重点港湾中津港を連結する地域高規格道路中津日田道路（延長約50 km）の一部を担う延長8.8 kmのバイパス事業である。中津・日田地域の連携を強化し、地域産業の活性化や、災害時の救援活動や代替路としての機能確保等を目的としている。   |   |  |  |  |      |  |
| H27年度事業化  | 都市計画決定 なし   | H31年度用地着手予定  | H31年度工事着手予定  |  |      |  |
| 全体事業費   | 254億円   | 事業進捗率  | 約4%  | 供用済延長                                  | 0 km |  |
| 計画交通量   | 11,400台/日   |  |  |  |      |  |
| 費用対効果分析結果   | B/C <small>(事業全体)</small><br>1.2<br><small>(残事業)</small><br>1.2                   | 総費用 <small>(残事業)/事業全体</small><br>195/204億円<br>事業費：185/195億円<br>維持管理費：10/10億円 | 総便益 <small>(残事業)/事業全体</small><br>240/240億円<br>走行時間短縮便益：200/200億円<br>走行経費減少便益：28/28億円<br>交通事故減少便益：11/11億円 | 基準年 <small>(残事業)/事業全体</small><br>平成30年 |      |  |
| <b>感度分析の結果</b><br><small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=1.0~1.2(交通量 ±10%) <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=1.0~1.2(交通量 ±10%)<br>事業費：B/C=1.0~1.2(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.0~1.2(事業費 ±10%)<br>事業期間：B/C=1.0~1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.0~1.2(事業期間±20%)        |   |  |  |  |      |  |
| <b>事業の効果等</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害や冬期における事故等の通行障害を回避するリダンダンシーの確保</li> <li>・北部九州に集積する自動車産業をはじめとする産業・物流の支援強化</li> <li>・耶馬溪・山国地域における広域救急医療体制の強化</li> <li>・日田や耶馬溪を周遊する広域観光ルートの形成によるツーリズムの推進に資する道路である。</li> </ul> |   |  |  |  |      |  |
| <b>関係する地方公共団体等の意見</b><br>沿線の地方公共団体や商工会議所等で構成する中津日田間地域高規格道路促進期成会(会長：中津市長)より、産業経済面への効果に加え、平成24・29年九州北部豪雨による現道通行止時に開通区間(本耶馬溪耶馬溪道路)が代替路として機能したため重要性が再認識され、早期開通の強い要望を受けている。  |   |  |  |  |      |  |
| <b>事業評価監視委員会の意見</b><br>事業継続を妥当と認める  |   |  |  |  |      |  |
| <b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月に東九州自動車道の北九州市～宮崎市間が開通。</li> <li>・平成31年3月に三光本耶馬溪耶馬溪道路の中津IC～田口IC間が開通。</li> </ul>   |   |  |  |  |      |  |
| <b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b><br>平成27年度から測量・設計に着手。事業進捗率は平成30年度末時点で約4%（事業費ベース）。平成31年度から用地買収に着手予定。   |   |  |  |  |      |  |
| <b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b><br>地元や関係機関との協力体制のもと早期供用に向け用地買収及び工事等の事業進捗を図っていく。   |   |  |  |  |      |  |
| <b>施設の構造や工法の変更等</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・H29九州北部豪雨により土砂流出した溪流部の構造を橋梁からトンネルへ見直し</li> <li>・河川代替計画の見直し、落石対策工の追加。</li> <li>・新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。</li> </ul>                                       |   |  |  |  |      |  |
| 対応方針  | 事業継続  |  |  |  |      |  |
| 対応方針決定の理由   | 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。   |  |  |  |      |  |

# 事業概要図

耶馬溪道路



## 中津日田道路概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。